

# 図書だより

石川県立金沢桜丘高等学校  
図書委員会広報係②作成  
2016. 12. 14発行

## にんげん なまこ ふゆこもる 人間の海鼠となりて冬籠る … 寺田 寅彦

師走に入り、寒さも本格化していきます。じっとして動きたくありませんよね。上記の句は、戦前の物理学者ですが随筆家としても有名な方のものです。観察眼を感じますね。しかしなぜ海鼠なのか？ちょっと考えてみませんか。

1・2年生は、そろそろ新年度のことを考え始めるころでしょう。自分の将来を考え、悩んでいるのでは？そんな皆さんには、情報ソースをたくさん持つことをお薦めします。インターネット上の個々の情報ではなく、バラバラな情報をテーマに沿ってまとめてある書籍を利用することで時間を節約でき、比較して考えることができます。

本に触れることは心や頭の休息にもなり、想像力を鍛えるのに最適です。さあ図書館に来てみませんか？

## 夏休み課題 読書感想文

夏休み課題の読書感想文について、第一次・第二次選考の結果、以下の作品が学校代表として応募されました。

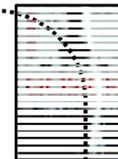
### ◎青少年読書感想文県コンクール

- ・「友だちって何だろう」 重松 清 著『きみの友だち』  
1年 R.S.
- ・「私が望むこと」 小川 糸 著『にじいろガーデン』  
1年 S.T.
- ・「いない命などない」 山田 悠介 著『キリン』  
1年 M.Y.

### ◎高校生読書体験記コンクール県予選

- ・「人間合格のための反面教師」 太宰 治 著『人間失格』  
1年 R.T.
- ・「自分を見つめ直して」 畠中 恵 著『百万の手』  
1年 N.N.
- ・「カラフルな私たち」 森 絵都 著『カラフル』  
1年 H.N.
- ・「生きていくうえで大切なこと」 重松 清 著『熱球』  
1年 M.N.
- ・「かけがえのない存在」 重松 清 著『きみの友だち』  
2年 M.N.

## 「GOSICK -ゴシック-」 桜庭一樹著 角川文庫



20世紀初頭、ヨーロッパのソヴール王国に日本から留学した少年久城一弥が、留学先である学園の図書館塔にいた美少女ヴィクトリカと出会うところから物語は始まります。彼女の頭脳は学園に起きた難事件を次々解決していきましました。しかしある日、ヴィクトリカと一弥は招待された豪華客船での殺人事件に遭遇してしまい、ヴィクトリカはその謎に立ち向かおうとします。私は、一弥とヴィクトリカの会話のやりとりの甘酸っぱい雰囲気を読んでいて一番気に入りました。ミステリ好きな人には堪らない作品です。ぜひ手にとって下さい。

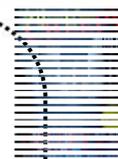
## 「母性」 湊かなえ著 新潮文庫



この本は女子高生が自宅の中庭で倒れていたことから始まり、母の手記と娘の回想によって過去の記憶を辿り、真相を追うというストーリーです。この本では、「愛を求めようとするのが娘であり、自分が求めたものを我が子にも捧げたいと思う気持ち」が「母性」とあると書かれています。私は読み終えてこの定義に納得することができ、改めて母の大切さを感じました。とても読みやすく面白本なのでぜひ読んでみて下さい。

# 図書委員おすすめの本

## 「クーパー」 前川 裕著 光文社文庫



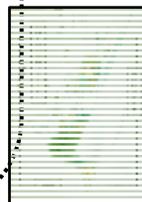
この本は、「奇妙な隣人」への疑惑と不安がおしよせる、2011年日本ミステリー文学大賞新人賞受賞作です。この本は、映画化もされている作品です。未解決の一家失踪事件と奇妙な隣人家族のストーリーです。小説でこれほど恐怖を感じる本は今まで読んだことがありません。先が気になりとまらなくなる作品です。

## 「中国人が見たここが変だよ日本人」 孫 向文著 青林堂



この本は中国生まれの作者が日本人を様々な観点で見たことをまとめた本です。たとえば日本の政治や文化、体質などについて（特に政治）多く書かれています。文体は読みやすく、表現もあまり難しくありません。さらには、漫画がトピックごとに挿入されており、本を読むのが苦手な人にもオススメです。作者の歯に衣させぬストレートな物言いはハッと気づかされる点が多いです。気になった人は一度手に取ってみてはいかがでしょうか。

## 「百人一首ノート」 今日マチ子著 KADOKAWA



懐かしい言葉に指を引かれ頁を捲っていくと、数多の和歌となんとも言えない透明感を秘めた挿絵が並んでいます。この挿絵は、作者が「百人一首」を読み自由に連想し、あえて台詞をつけずに描いたもので、千年も前に抱かれた感情の機微を、すうっと、私たちの中に届けてくれます。千年も前となると、未知の領域に踏み込んでいくような気持ちになりますが、和歌に籠められた作者の想いは、その時代特有の流行や何かではなく、「失恋して悲しい」、「美しい景色を見て感動した」といったシンプルなもの、本当にそんな純粋な気持ちが後の時代に一番残っていくのだと考えさせてくれます。

## 「空想科学読本①『いちばん強いのは誰!?』編」 柳田理科雄著 KADOKAWA



この空想科学読本という本を知っている人は少ないと思います。この本は、漫画やアニメ、ゲームなどのキャラクターをさまざまな角度から一番強いのは誰なのかを、科学的根拠をもとに決めています。僕が一番面白いと思ったことは、それいけ！アンパンマンのバタコさんが新しいパンを投げる時、腕の力が11トンにも達することでした。あの見慣れた行為がそんなにも恐ろしいものとは思わず、ついつい笑ってしまいました。皆さんにも、きっと面白いと思える部分が出てくるでしょう。是非読んでみて下さい。

# 集団読書開催



集団読書とは、クラス皆で同じテキストを読み、自分と違う受け止め方を知るといふ、普段の読書とは違った楽しみ方を体験するものです。



## 1日目 [10月26日 (水) L.H.]

内容は、次回に向けて感想を書くことです。そのためにテキストを事前に読んでおくことが必要でした。

事後アンケートでは、「一週間ほど朝読書の時間を作ったほうがいい」といふ、読書に対して前向きな意見もありました。

## 2日目 [11月2日 (水) L.H.]

内容は、4～5人のグループを作り、その中で他の人の感想を読み、コメントを記載し話し合うというものでした。

アンケート結果から、多くの生徒が集団読書に肯定的でした。しかし、2時間かけたことについて長いと感じた生徒もいました。



### 一口感想から

「人それぞれ違った感想があることを知り、新たな発見や意見の幅が広まった」といふ肯定的な意見や「今回の取り組みを通じて読書意欲が高まった」といふ意見がありました。

「読む時間が少なかった」といふ意見や「高校生にふさわしい本を選んで欲しかった」といふ不満の声もありました。

けれど、「普段読まないジャンルが読めた」「みんなで同じ本を読むというのは初めてで面白かった」など、集団読書を楽しんでくれた人が多かったようです。

### まとめ

今回の集団読書を通じて桜高生の読書に対する姿勢が変わったと思います。今後は、改善できる部分は改善し、これからもこの集団読書を続けたいです。



# 図書館講座「読み聞かせの会」

[10月20日(木)放課後]

小講義室で宮沢賢治の読み聞かせの会が行われました。

講師の細川律子さんは岩手県出身で「宮沢賢治を読む会」の代表です。

宮沢賢治の作品(永訣の朝、雨ニモマケズなど)を、柔らかい、暖かみのある岩手弁で朗読してくれました。

事後アンケートでは「わかりやすさ」、「おもしろさ」、「役に立つ」、「受講後興味がわいた」の項目の評価が高かったのですが、「時間」が長すぎるという運営に対する意見も少なからずありました。



### 一口感想から

「自分の知らない宮沢賢治のことをたくさん知ることが出来て興味深かった」

「宮沢賢治は、元から好きでしたが、今回の講義でより興味を持てた」

『永訣の朝』を知った後に、雨ニモマケズを読むと、…南ニ死ニソウナ人アレバ、行ッテコハガラナクテイイトイヒ…の部分でトシの死を経験したので、こんなことを言えるのだと思った」

など宮沢賢治への興味が高まったという感想が多かったです。

# 後期購入図書選定会に行ってきました

[10月27日(木)の放課後]

本屋のKaBoS大桑店で、1年生と2年生の図書委員13人と図書課の先生方5名が後期購入図書選定会を行いました。約200冊の本が候補に挙げられ、そのうちの173冊が選定されて新しく購入本として図書館に入りました。自分の選んだ本が図書館に入るといふことで、参加した多くの生徒が有意義な時間を過ごせたと述べていました。



### 参加者の感想(抜粋)

☆自分で図書館の本を選ぶのは初めてでとても面白かったです。この機会に図書館にもっと人が来てくれたらいいな、と思いました。

☆今回選定に参加して本のジャンルの多さに改めて驚いたとともに、自分の読書の幅の狭さを実感させられました。また、図書委員自らが本を選ぶことで、図書委員としての自覚を少なからず得ることができたと思います。

## 冬休みは閉館です！貸出冊数10冊までOK！

ただし、1月11日までに返却すること。